

病害虫防除対策

■ラジコンヘリ防除計画

・7月16日より各地区にて、ラジコンヘリによるカメムシの一斉防除を実施中です。

今後は下記の散布日程にて防除予定ですので、皆様のご協力をお願いします。

散布地域	散布予定日 (1回目)	散布予定日 (2回目)
吉野全域(芝原除く)	7/18(月)	8/1(月)
	7/19(火)	3回目 8/12(金)
大虫全域	7/20(水)	8/2(火)
国高 (横市・塚・庄)	7/21(木)	8/3(水)
神山 (池ノ上・広瀬(一部)・岡本)	7/21(木)	8/3(水)
北日野(東) (西尾・庄田・荒谷・平林・大手・岩内・大屋・葛岡)	7/22(金)	8/4(木)
北日野(西) (矢船・矢船・帆山・小野谷・向新保・畑・西谷)	7/23(土)	8/5(金)
味真野全域	7/25(月)	8/6(土)
坂口全域	7/26(火)	8/7(日)
白山 (安養寺・粟野・小杉・牧・若須・萩原・鴉ヶ平除く)		
王子保 (大塩・国兼・上小松・森久・瓜生野・白崎)	7/27(水)	8/8(月)
王子保(中平吹)	7/29(金)	8/9(火) 3回目 8/18(木)
北新庄全域	7/29(金)	8/9(火)
	7/30(土)	8/11(木)
南条 (牧谷・関ヶ鼻・上別所)	7/16(土)	7/26(火) 8/5(金)
今庄全域	7/22(金)~ 25(月)	8/1(月) 8/10(水)・13(土)



★散布時間

午前 5:00(坂口地区は白山地区終了後)~

散布終了まで

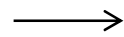
通勤通学時間帯を考慮し、

午前 7:30~8:30 の間は一時休止します。

【散布にあたってのお願い】

1. 散布中及び散布直後は、散布区域に立ち入らないで下さい。また、危険ですので興味本位で近づかないようにして下さい。
2. 散布中は洗濯物を屋内に入れ窓を閉めて下さい。
3. 万が一、身体等に薬剤がかかったら、すみやかにうがいをし、石鹸で洗い流して下さい。

※地区ごとの詳しい散布区域に関しては、JA 越前たけふのホームページよりご確認できます。



QR コードは
こちらから

【雨天延期時の日程と注意事項】

- ・当日の天候回復が見込める場合 散布時間を遅らせて散布します。
- ・天候回復が見込めない場合 予備日や他地区の終了後に散布します。
※順延ではありませんのでご注意ください。



■仕上げ防除を実施しましょう

・近年の温暖化による積雪量や日数の減少により、大型で生息期間の長いクモヘリカメムシなどが多発傾向にあります。今冬は、積雪日数はありましたが、草刈りをしていない水田周辺雑草地では特にカスミカメムシ類の発生が多く、すでに圃場内への侵入も確認されています。(すくい取り調査で平年の2倍以上)

【注意点】

- ・本田防除の際は畦畔も含めて防除し、雑草の多い圃場や休耕田の周りは徹底して防除する。
- ・出穂7日前以降の草刈りは本田への侵入を助長するため行わない。

※特別栽培米の場合はラジコンヘリ防除を含めて2回(所定の剤)しか防除できませんので注意しましょう。

アカスジカスミカメ



【防除薬剤】

エクシード粉剤 DL 3kg/10a 収穫 7 日前まで
アルバリン粉剤 DL 3kg/10a 収穫 7 日前まで

■いもち病対策 ～葉色が濃い圃場で要注意・病斑を見たら直ちに防除～

・予防剤を散布していない常発地や生育旺盛で稲体が軟弱な場合はいもち病の発生に注意しましょう。特に出穂後の穂首いもちが多発すると大減収となりますので、万が一発病したら、治療効果がある薬剤で早急に防除しましょう。



いもちの病斑



治療効果のある薬剤

- ブラシン粉剤DL 3～4 kg/10a
収穫 7 日前まで
※散布後 4～5 時間程度降雨がなければ散布可能
- オリブライト粒剤 1 kg/10a



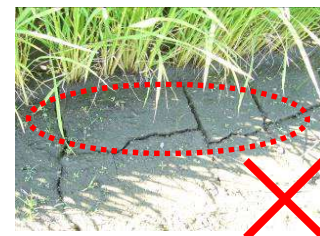
※発生を確認したら雨の止み間をみてブラシンを散布し、いもち病を止めることが基本となりますが、降雨が続いてブラシンの散布が困難な場合には、オリブライトの散布をお願いします。

注意: 特別栽培米の場合は移植・直播ともに散布できません。

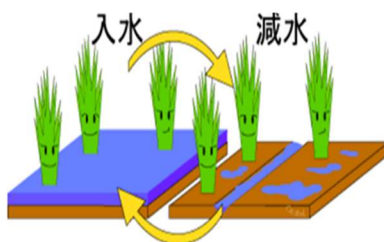
収穫までの水管理

■乳白・白未熟粒対策～水不足の夏、渇水対策に注意し収穫直前までの間断通水を！～

・出穂期はイネが最も水分を必要とする時期で、幼穂形成期～収穫直前まで水分がある状態を保つことが大切です。特にコシヒカリでは、2 等以下の格落ち理由で一番多いのは乳白、白未熟粒被害です。その要因として登熟期間中の水不足による稔実不良が主な原因と考えられ、併せて胴割れ米の発生にもつながりますので収穫直前までの間断通水を徹底しましょう。



間断通水のイメージ



高温時の湛水は根腐れしやすいので、3 日以上は行わない。



【渇水時の水管理対策】

・本年は 6 月中に梅雨明けし、高温少雨傾向です。今後もこのような気象が続くと、水不足が予想されますので、下記の対策を図りましょう。

- ☞ 漏水しないよう畦畔の水漏れを点検し補修する。
- ☞ 入水 ⇒ 自然落水 ⇒ 白く乾ききる前に入水(足跡に水が溜まっている程度)
- ☞ 地域や集落で用水系統や団地毎に入水時間を申し合わせるなど、計画的に用水供給を行う。